



佐藤 仁志 議員 新しい風やとみ

問 保育所民営化の質の担保は

答 三者協議会等で関与する

問 民間に移管されるひので保育所の建物は、評価額の10分の1で有償譲渡するのが妥当ではないか。

答 **健康福祉部長** 地域の教育保育施設として健全な運営かつ適切な保育が継続されるよう、建物は無償譲渡とする。

問 老朽化し、立地的に不利であれば無償でもいいが、ひので保育所はむしろ一番有利ではないか。

答 **児童課長** 幼稚園の機能を持たせるため、より多くの子どもが通えるよう、できるだけ大きな施設を選定した。

問 ひので保育所の民営化の検証はどのようにするのか。

答 **健康福祉部長** 「公私連携幼保連携型認定こども園設置に係る協定」を締結し、移管後も市が関与を保ち続ける。協定に従っていないときは、是正勧告および指定の取り消しを行うことができる。

問 民営化後のひので保育所の保育の質が、公立保育所以上であることをどのように担保するのか。

答 保護者の代表を含めた三者協議会で連携をしながら、適切な保育になるよう関与する。



▲ひのではばたきこども園 (google マップから引用)

問 周辺部の農村地域の行方は

答 コンパクトシティを進めていく

問 中心部と周辺部に大きな違いがある。鍋田村、十四山村と弥富町の合併が対等といえるか、何のための合併だったのか。

答 **総務部長** 鍋田村と弥富町は新設合併。弥富町と十四山村は、対等の精神の編入合併。

問 地域間格差は現実には存在する。大が小を補うことが合併における対等ではないか。

答 合併する各町村がお互いに尊重し、新たなまちづくりを進め、一体的な発展と住民福祉の向上を目指す。

問 コンパクトシティを本気で進めると農村地域では子育てはできなくなってしまう。農村地域の不安にどう応えるのか。

答 **建設部長** 市街化調整区域の性格を変えない範囲で、地区計画による適切な規制、誘導を図るが、居住や都市機能を、街の中心部へ緩やかに誘導していく。

問 建前の上では農村地域の振興もするが、最終的には中心部へ誘導するということか。

答 **都市整備課長** 市街化調整区域にこれから拠点を作るのではなく、現状維持。コンパクトシティは、長い年月をかけて誘導する必要がある。

